平成１９年度第２回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）	
日　　時	平成１９年６月２９日（金）　１４時～１５時
場　　所	教育委員会会議室
出席委員	荒川委員長、三村副委員長、大脇委員、亀田委員、橋本委員、中村委員、前田委員、森委員、吉田委員
欠席委員	太田委員
事 務 局	盛田教育長、菅原部長、森生涯学習課長、遠田主幹、山下主幹、高屋主幹、下出青少年課長、松原主幹、中山生涯学習推進アドバイザー、矢元主査

Ⅰ【委嘱状交付】

・　委員の退任に伴い、亀田委員、中村委員へ委嘱状の交付を行いました。

Ⅱ【諮問】

・　新しい室蘭市社会教育振興計画の策定に関して、教育委員会から諮問を受けました。

Ⅲ【議事報告】

【日程１】

議案第１号　室蘭市青少年問題協議会委員の推薦について

（森課長）

・　本件につきましては、社会教育委員の会から、太田委員を選出しておりましたが、６月３０日で任期が満了しますことから、あらたな委員の推薦を求められている所でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

（荒川委員長）

・　この件につきましては、前任同様太田委員ということで、実は本日は欠席しておりますが、本人の内諾を得ているということですから、引き続き太田委員ということで皆さんよろしいでしょうか。

（異議なしで承認）

議案第２号　室蘭市緑化審議会委員の推薦について

（森課長）

・　本件につきましては、社会教育委員の会から、原田委員を選出しておりましたが、この度、原田委員の退任に伴ない、新たな委員の推薦を求められている所でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

（荒川委員長）

・　原田委員の後任委員ということでございますので、亀田委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

（亀田委員）

・　前任の方がＰＴＡの方なので、そういう流れなのかなとそういうように認識しております。

（荒川委員長）

・　ありがとうございます。それではご承諾いただきましたので、よろしくお願いを申しあげます。

【日程２】
報告第１号　平成１９年度教育行政方針について
（菅原部長）

・　教育行政方針の概要について説明します。毎年年度の教育行政の基本的な考え方をお示ししておりますが、今年は選挙の年ということで、６月定例会でお示ししました。
　柱として３つ起こしております。１ つ目は「子どもの安心と安全を確保する一層の取り組み」、２つ目は「生きる力の育成と教育環境整備への取り組み」、３つ目は、「少子･高齢化社会に対応する生涯学習推進への取り組み」となっており、順をおって主な取り組みをお話します。

・　子どもの安心安全は非常に大事だという中で、具体的な施策としては、蘭西地区に適応指導教室を増設するということです。今まで、知利別小学校と白鳥台小学校にいじめとか不登校などの子どもたちの相談の専門の教室をもってきましたから、今回は武揚小学校の中に適応指導教室を開設して、子どもたちがきめ細かく相談できる拠点を開設しました。
　また、いじめの早期発見・早期対応のために、アンケート調査をするとともに、「いじめ・不登校等対策協議会」で、いじめの根絶に向けた取り組みを進めます。
　放課後児童対策として、児童の安全な居場所確保と健全育成を目的に、余裕教室を使いながら学校にスクール児童館として、地球岬小学校・水元小学校・本輪西小学校が新たに加わり８箇所で開設し、これに予算が通りまして、常盤小学校、武揚小学校、高砂小学校での開設に向けて準備をし、来年には 11 箇所の開設となります。少しずつ出来る所から開設したいと思います。
　一方、子育てに悩み不安を抱いている保護者もいるということから、３、４歳児と親のセミナー、児童子育てサロンなどの講座を開設して、子どもの発達段階に応じた子育てについて学習する場を充実させていきたいと思います。

・　第２の柱は、生きる力の育成と教育環境整備の取り組みとして、「ものづくりのまち」として学ぶ意欲の向上、体験的な学習機会の中で、室蘭工業大学との連携や新たな環境産業と関連づけた教育への取り組み、これは総合的な学習時間で展開します。さらに、星蘭中学校では、キャリア教育実践校に指定して、職業観･勤労観を養うための教育として授業を展開してゆきます。
　中島スポーツセンターは市の公の施設として、夏は水泳、冬はスケートとして運営しており、スケート授業は全小学校で展開してもそれに対応できるように、バスを用意するとか、児童が一年を通じてスポーツに触れる機会を増やしていきます。
　学校統合として、中島小学校･日新小学校の統合校は、平成２２年４月の開校を目指した実施設計を、鶴ヶ崎中学校・東中学校は統合しまして大和小学校後に、平成２３年４月の開校を目指した基本設計にはいります。
　蘭西地区での４小学校の統合･新設については、大きな課題を抱えています。入江地区が１つの選択肢の可能性として述べておりますが、課題も多く保護者、地域の方々の理解を得ながら、引き続き検討しながら進めていきたいと思います。

・　第３の柱として、少子･高齢化社会の対応に対する生涯学習推進への取り組みですが、ここの部分が社会教育委員の皆様方の関わりの深い部分となり、一年を通じてご尽力をいただきますが、多様化する市民の学習ニーズに対応するため、生涯学習の観点に立った、社会教育部門の基本となる平成２０年度から２９年度までの「社会教育振興計画」を策定いたします。新たに、１０年計画を策定する事を謳っております。
　民俗資料館の利用促進に向けて、運営ボランティアの養成や開設講座を工夫して、子どもや市民が利用される施設として工夫した展開を進めていきます。

スポーツにつきましては、体育館は長年の懸案でありました駐車場の整備はいたしましたが、アリーナ床の改修、暖房、雨漏り対策など、今回は体育館の改修に力を入れています。

図書館については、読書活動推進計画に基づく取り組みとして、図書館ボランティアの育成と拡充に努めます。

男女平等参画社会の形成については、啓発活動や市民参加型のフォーラム開催などにより、市民の推進協議会等と庁内にある本部と連携を取りながら、更に推進に努めてまいります。

・　３つの柱の中で今年度の教育委員会として、また、室蘭市の教育の方向として、具体的なものは、予算措置を伴えるものを中心にお話をしておりますので、各部局において実際に進めてゆきたいと考えております。

（亀田委員）

・　「いじめ・不登校等の対策協議会」の構成メンバーはどのような方々ですか。

（菅原部長）

・　各学校の生徒指導の先生を中心に先生方、指導室ということは教育委員会も当然はいっております。現場の先生の対応など非常に横の連携が大切になります。

（亀田委員）

・　今のご報告の内容の中にＰＴＡについて触れている部分がなかったのですが、教育委員会といたしましては、ＰＴＡとの連携はなにかお考えなのでしょうか。

（森課長）

・　地域と学校を繋ぐ家庭と地域を繋ぐという重要な結節点が、ＰＴＡだと認識しております。そのための支援とかをしていければと考えております。

（吉田委員）

・　３、４歳児と親のセミナーをずーとやっているのですが、私達の所（ワニワニクラブ）に来ているお子さんが３歳になると幼稚園に行く時代になり、今年大幅に減って半分になったんです。どこの地域もそのようですし、３、４歳児からもう少し年齢を下げた計画をしていただきたいと思います。

（森課長）

・　実は、この度の３、４歳児と親のセミナーは、港北児童センター、港南児童センターで開催いたしました。ちょっと集まりが悪く色々努力をしたが、満足な人数にはなりませんでした。秋に向けての開催には、考えていかなければいけないと思っています。その際には吉田委員さんからもご意見をいただいて、ご協力をいただければと思います。

報告第２号　４月・５月行事報告及び６月・７月行事予定について

（荒川委員長）

・　前田委員のほうから予め質問の通告がございました。お願いします。

（前田委員）

・　男女平等参画推進の部分で、６月２３日に「第６回男女共同参画週間記念フォーラム２００７」が開催され、７月２１日には「室蘭市男女共生セミナー開講講演」が男女平等参画センターで開催される予定になっています。男女平等参画センターでは男女平等参画に関する行事、フォーラム、セミナーなど行われておりますが、昨年指定管理者の運営となりましてから、男女平等参画プラザという場所ができまして、そこには７団体が所属しております。

そのことに関して一年間くらい経ちまして、推進プラザができた事の存在と意義が第１点目。第２点目は推進プラザが実際にどういうような取り組みを行ってきたかと、現

時点での成果はどのようなものがあるか。第３点目は今後の課題については、どのようなことなのでしょうかお聞きしたいと思います。

（森課長）

・　昨年４月、室蘭市男女平等参画基本計画に基づき、男女平等参画社会の実現を目指す公益的な活動を継続的に推進する団体の活動拠点とし、行政と推進団体間、あるいは推進団体間相互の連携を促進するため、胆振地方男女平等参画センター（ミンクール）内に「男女平等参画推進プラザ」を設置いたしました。

・　プラザは、会議室が２部屋、印刷機の設置、使用団体に書庫を貸与するなど、団体活動が円滑に行えるように、行政の仕切りとして「無料」で利用していただいております。

　使用団体については、希望する団体から申請していただき、教育委員会が団体の活動状況などを審査して、認定する形式をとっております。

　現在７団体を認定し、それぞれの団体が男女平等参画社会の実現を目指し活動しておりますほか、男女共生セミナー運営ボランティア、情報誌作成委員会の会議にも利用しており、昨年度の利用は、２６７件・月平均２２件、本年度５月末では６２件・月平均３１件となっており、順調に利用が推移しており、その中で団体間の連携とかが取られているようです。

・　行政と各団体との情報共有やネットワークづくりが重要なことから、月１回運営委員会を開催し、意見交換を行っております。その中で、本年度は、プラザ利用団体などと協働して意識啓発の情報誌を年２回発行いたします。

　また、今まで個別に活動していた団体が、同じ男女平等参画というテーマで学習会や講演会等を開催し、市民にその活動内容を広めていくことも必要なことから、７団体共同で、道立女性プラザの「出前セミナー」に申請したと聞いております。結果は、来月届く予定とのことですが、実現できることを期待しております。

・　今後も、男女平等参画社会の実現に向け、市民と行政の連携の場でもありますプラザの機能を生かして、ネットワークづくりの強化と団体活動の活性化を図っていきたいと考えております。

（前田委員）

・　この質問の意図は、このような場所があることやミンクールになりましてから７団体が活動している事が、どの程度浸透しているのかと思いまして、逆風が吹いているとかいう話もありますが、少なくとも室蘭市においては、かなり市民の活動は活発ではないかと思っています。もちろん行政の支えもあり、担当者は大変だと思いますが、市民の意識として活動している団体が、７団体も集まっているということはとっても意義が大きい事だと思います。国の状態を見るとけしって良い状況ではないと分かりますけど、少なくてもこの地域では進めていかなければいけないと思っています。是非市民の中にも浸透してなおかつ行政とも連携してゆければと思います。

・　社会教育行事報告の３、４歳児と親のセミナー５月行事報告の中で、５月２９日に港南児童センターで開催したセミナーの参加者が０人とはどういう事情なのでしょうか。先ほど吉田さんからも対象年齢を下げてはどうでしょうかという意見もありましたが、どういうことでしょうか。

（森課長）

・　先ほどの件に関連しますが、港北児童センターは登録が１２組、港南児童センターは２組しか登録がない上に、当日は子どもの病気と重なって０人となりました。

（前田委員）

・　原因について勝手に想像したんですけど例えばこれは、港南地区の地域自体に子どもが少ないのか、いるけど広報活動とか連絡体制の不備で参加者がいないのか。どうした

らよいのでしょうか。

（森課長）

・　港北地区と港南地区の児童センターで開催したのですが、市内のエリアを区切っているわけではなく、都合の良い方に参加できる仕組みになっております。去年と同じような情報の流し方をしていたんですけど、なぜか港南地区が非常に集まりが悪くて、そこのところはまだ十分な検証が出来ていない状況ですので、もう少し時間をいただいて状況を分析して秋に向かって、方策を練らせていただきたいと思います。

（三村副委員長）

・　場所的には蘭東地区などの方が、集まる人数が多いという気もしないでもありません。その辺も含めてよろしくお願いします。

（前田委員）

・　いつもと同じ情報の流し方ということでしたが、情報の流し方を検討すべきです。情報は出したから来るということではなく、私達の場合は例えば目標値を設定すれば、それなりに目標に相応しい人の集め方の情報の出し方を検討して、ただ流しただけでは集まりそうになければ、それぞれのネットワークを使うとか、なんとかしなければ目標は達成できないという事になります。行政もやりましたが集まらないという事ではなく、やった事がどうだったかということと、その内容の精査を行い事後の評価をしなければと思います。教育委員会は数だけの評価ではないと思いますが、なにか悲しい淋しい思いをいたしました。人が少ない中で大変だと思いますが、その方法について検討をお願いします。

報告第３号　社会教育施設の現状と課題について

（高屋主幹）

・　室蘭市体育館整備についてご報告いたします。

・　先程、教育長のお話の中にもございましたように、スポーツ施設におきましても、老朽化などにより、改修の必要が生じており、その中で、今年度行われる予定の室蘭市体育館の整備についてご説明いたします。

　平成１９年度の体育館の改修についてでございますが、数年前から、アリーナの床のきしみなどがひどく、段差なども生じていること、また、雨漏りやアリーナ天井の暖房設備からの蒸気漏れなど、今後も、競技に影響が出ることが考えられることから、必要な改修を行って参りたいと考えております。

　アリーナの床改修の主な内容としては、床の沈下防止の杭打ち、フローリングの張り直し等を行います。

　雨漏りについては、調査の結果、屋根にある５ヶ所のルーフファンから、雨や雪が吹き込み、雨漏りが生じる事が判明したため、５ヶ所のルーフファン全ての取り替えを行います。

　暖房設備につきましては、老朽化が著しいため、天井にある蒸気の配管と暖房パネルをすべて交換いたします。

　工期につきましては、全道大会など大きな大会が比較的少ない、１１月から３月までの約４ヵ月半程度を予定しており、この期間は卓球場、武道場等は利用できますが、アリーナについては工事期間中、休止いたします。

　それに伴う代替施設については、特に用意する予定はしておりませんが、早い時期に市民、各団体にお知らせしており、利用の調整をお願いするとともに、登別市、伊達市や新日鐵健康保険組合、サンライフ等の体育館利用について、出来る範囲での協力をお願いしているところでございます。

改修費につきましては、競技場の床改修に 79,000 千円、暖房設備の改修に 62,730 千円、ルーフファン改修に 5,670 千円、合わせて、147,400 千円となっております。

（質疑応答なし）

【日程３】
その他（１）平成１９年度北海道社会教育委員連絡協議会定期総会結果について
（２）平成１９年度胆振管内社会教育委員連絡協議会定期総会結果について
（３）第２７回北海道市町村社会教育委員長等研修会について

（荒川委員長）
・　北海道社会教育委員連絡協議会（道社連）の総会については、私が出席いたしましたので簡単にご報告します。胆振管内社会教育委員連絡協議会(胆社連)は、三村副委員長と私が出席いたしましたので、こちらは三村副委員長から、そして第２７回北海道市町村社会教育委員長等研修会の研修会は事務局ということで順次ご報告します。

（荒川委員長）
・　例年のようにそれぞれ年度報告や予算等についての決算、今年度の方針や予算が審議されております。特にご報告申し上げたいのは１０月１１日から１２日に掛けて芦別におきまして第４７回北海道社会教育研究大会芦別大会が開催されます。ご案内は後ほどになると思いますがご記憶いただきたいと思います。

（三村副委員長）
・　胆社連につきましては、５月２５日苫小牧市文化会館で開催されました。年１回の総会ですので、１８年度の事業報告だとか収支決算報告がなされました。また、１９年度の事業計画といたしまして、直接関係あるものといたしまして、１１月を目処に胆振管内社会教育委員等研修会及び永年勤続表彰式を、苫小牧市で開催するというお話でした。詳しい日程は後ほどお知らせするというお話です。予算に関しましては、昨年とだいたい同じなのですが、研修会の充実を図るというお話がありました。連絡といたしましては１１月１０日(土)白老町公民館で北海道絵本フェスティバルを開催するということ、９月２２日(土)から１０月２１日(日)まで洞爺村国際彫刻ビエンナーレが開催されるという事で、どうぞお足を運んでくださいということでした。
　全体的として印象に残っている事は、胆振教育局毛利主幹のお話があったんですけど、「家庭教育とは全ての教育の出発点であるから、各地域でその充実を図ってください。」と強調されていた事が印象に残っております。

（森課長）
・　第２７回北海道市町村社会教育委員長等研修会についてでございますが、７月５、６日の両日にわたり札幌市で開催されます。荒川委員長に出席をお願いし、諸準備を進めているところです。

（質疑応答なし）

（荒川委員長）
・　前回までは研究協議「室蘭市の社会教育について」をテーマに協議を進めてまいりましたが、先ほど教育長の方から「新しい室蘭市の社会教育振興計画」の策定に関する諮問をいただきましたので、今回からは「研究協議」に変わりまして、「新しい社会教育振興計画策定委員会」という名称にいたしまして、審議を進めて参りたいと思います。

（異議なし）

（荒川委員長）

・　一応定例会は終了いたします。次回は８月１０日（金）を予定しています。よろしくご出席をお願いいたします。